

前年度の市長と語る会における意見及び回答とその後の対応状況

意見	昨年の市長の回答	対応状況【担当課】
地すべりが起こった場合、土砂等は個人で片付けすることになるのか。また、今後自然災害等を考慮し建築許可等の規制をかける予定はあるか。	激甚災害等であれば国が行うことも考えられるが、個別の案件になると個々での対応になる。土岐市は宅地造成規制法により規制区域となっており、現在もある程度の規制がなされている。	急傾斜地や土石流等の土砂災害については、県において平成24年度警戒区域・特別警戒区域を指定します。その際には地元への説明会を開催する予定です。また、平成25年度内を目途に、土砂災害ハザードマップを作成し、配布する予定ですが、作成にあたっては地元の皆様と一緒に、ワークショップを開催する予定としています。なお、特別警戒区域に指定されると、建築物の構造規制・特定の開発行為に対する許可制・建築物の移転などの規制がかかります。 【監理用地課】
花園保育園～土岐津小学校間の通学路の確保について、通行規制や分離は難しいとの回答であったが、カラー舗装等の対策の予定はあるか。	現地を見て対応させていただくことになるが、状況に応じてカラー舗装等の対応をしていく。	該当箇所については、平成23年度にカラー舗装を施工しました。 【土木課】
市役所の周辺で都市計画道路の計画の話があったが、経過はどうなっているか。	津路町から市役所まで都市計画道路の予定があり、規制が残っている部分もあるが、今後見直しをしていく予定である。	該当箇所については、現在見直しに向けて県と調整中です。 【都市計画課】
職員のあいさつについて、声が小さく元気がない。元気なまちづくりは元気な職員によりなされるものであり、子どもの見本となるよう元気なあいさつをしていただきたい。	職員に向け働きかけを行う。	職員に対し、パソコンの庁内掲示板等で必要に応じて周知を行っています。 【秘書広報課】
①財産区の温泉について音沙汰がないが、住民に湯を還元するなど活用することができないか。 ②自然エネルギーの普及のため公共施設への太陽光発電の予定はないか。	①については自噴しておらず汲み上げが必要であり、現状では難しい。 ②については費用対効果もあるが、新しい施設を整備する際には設置を検討していく。	①財産区の温泉の住民への還元については、自噴でないため費用対効果を考えると難しい状況です。 【土岐口財産区】 ②今年度、土岐津小学校へ教育用として設置予定があり、今後も大規模改築や新築の際に設置を検討します。その他様々な導入手法も検討していきたいと考えています。 【環境課】

前年度の市長と語る会における意見及び回答とその後の対応状況

意見	昨年の市長の回答	対応状況【担当課】
<p>下石町の指定避難場所が下石小学校と消防署になっているが、阿庄地区などからは遠く離れている。見直しを行っていただきたい。また、一次避難所については地震に弱いところもあり、それらも含めて見直しをお願いしたい。 一次避難場所については災害の種類ごとに分け、市民に分かりやすく説明していただきたい。</p>	<p>避難場所については災害の種類ごとに指定する必要があると認識している。ただ、指定避難場所については長期間避難することも考えられ、物資を集中させる必要もあるため、あまり多くの場所を指定するのは難しい。場所については見直しを進める。</p>	<p>避難場所については、今年度実施の土砂災害警戒区域指定の結果とDIG（災害図上訓練）の結果等を踏まえて検証・見直しを行い、平成25年度の防災計画改訂に反映させることとしています。 【総務課】</p>
<p>文化プラザでの映写機のメンテナンスをやめると聞いたが、近隣には映画館もなく需要はあると思われるので現状を確認したい。</p>	<p>プラザの映写機については使用状況や入場者数と維持費等を確認し、効果の方が大きければ検討させていただく。</p>	<p>文化プラザの映写機については、使用頻度も少なく更新が難しいため廃止し、代置としてブルーレイ・DVD対応のデジタルビデオプロジェクターを導入しました。 【文化振興課】</p>
<p>県道多治見恵那線の阿庄地区での歩道整備が進んでいない。子どもの事故の恐れもあるため対応をお願いしたい。</p>	<p>県道の歩道整備については県に要望しているが、県も財政状況が厳しいため進んでいない。市としても危険箇所としての認識はあり、今後も県に要望を続けていく。</p>	<p>県道多治見恵那線の下石阿庄地区の歩道整備については、県において用地取得が進められています。早期整備に向け、今後も県に要望を続けていきます。 【監理用地課】</p>
<p>新市長になり、大きく変わることを期待している。公約の一つに駅前活性化があるが、具体的な内容について聞きたい。また、アウトレットの来訪者を市内へ呼び込むような具体策があれば聞かせていただきたい。</p>	<p>今の市の状況から、何かをつくるというのは難しい。何かしなければ、何か夢を持たなければと言う意見を多く聞くが、お金がなくてもできる夢と言うのは少ない。財政状況がよければいいが、現状では何かものをつくることで財政が逼迫し逆に市民の皆さんに迷惑をかけることもありうる。ただ、駅前については高齢者住宅や産婦人科など人が集まることをしたいと考えている。 アウトレットのお客さんはアウトレットで買い物することが目的であり、市内を訪れることは考えていない。何か策を考える必要はあるが、なかなかいい考えがない状態である。ただ、あきらめずに前向きに取り組みは進めていく。</p>	<p>駅周辺の整備については、現在新土岐津線の整備を進めています。引き続き、県施工分を要望をしていくとともに、駅前広場の整備について、交通結節点の機能を主体とした基本計画の策定を進めています。整備を進めるにあたっては、まず社会基盤を整備し都市環境を整えることが魅力あるまちづくりの第一歩であると考えていますので、駅前広場を整備した後、地権者の意向や民間企業の動向等を踏まえて整備を進めたいと考えています。 【中心市街地整備推進室】 現在、策定中の新しい観光振興計画ではアウトレットからの誘客を1つの課題として具体策を検討することとし、新しく作成した観光パンフレットもそのコンセプトを反映したものとなっています。今後、策定した振興計画に基づき具体的な誘客プランを作成し、市内にも経済的な潤いが創出されるよう努めていきます。 【産業振興課】</p>
<p>①瑞浪市のバサラ祭りや花火などと比べると土岐市は見劣りしてしまうが、何か考えはあるか。 ②市内に銭湯がなくなった。アウトレット付近の財産区の温泉の活用について、複合施設の誘致など夢の持てるような話はないか。</p>	<p>①瑞浪の祭りは見たことがないため、一度他市の状況を勉強させていただく。 ②財産区の温泉については自噴でないため活用するには費用がかかるため難しい。温泉を活用した企業誘致についても不景気の時代であり厳しい状況である。</p>	<p>①花火の打上だけを比べれば土岐市4千発、瑞浪市3千発ですが、瑞浪市ではバサラなどその他の構成プログラムが充実しています。土岐市の織部まつりについても、より魅力的な祭りとなるよう実行委員会に助言・協力していきたいと考えています。 【産業振興課】 ②企業誘致については、温泉を活用した企業を含め、都市再生機構と協力し、誘致に努めています。 【土岐口財産区】</p>

前年度の市長と語る会における意見及び回答とその後の対応状況

意見	昨年の市長の回答	対応状況【担当課】
<p>若者はブロードバンド環境や携帯電話の通話環境、交通の便などで居住地を判断することになるため、土岐市よりも普及が進んでいる多治見市に流れてしまわないよう普及を進める必要があるのではないか。学校の誘致など検討してはどうか。</p>	<p>生活環境の整備についてはごもっともであり、特にＪＲの本数などは多治見と差がついている。学校の誘致については以前は郊外への進出が盛んであったが、近年はまた都心回帰の傾向にある。土岐市は緑豊かなところも魅力の一つと考えている。</p>	<p>ブロードバンド環境については、ＮＴＴ西日本の光回線が市内のほとんどの地域で利用可能となっています。また、携帯電話会社が提供する高速無線通信環境も広い地域で提供されています。 【総合政策課】 ＪＲの本数については、毎年岐阜県鉄道問題研究会を通じて、ＪＲ東海中央線の土岐市駅発着便の増便を要望しています。ＪＲ東海からは、「利用状況を勘案して、それぞれの需要に合わせた適正な列車本数や編成をしております」と回答されています。 【産業振興課】</p>
<p>市のホームページについて、リアルタイムでの情報更新など積極的に行っていただき、活用していただきたい。</p>	<p>是非やらせていただく。</p>	<p>ホームページでの情報公開について、土砂・河川・道路等の情報をリンクさせるなど速やかに情報提供できるよう努めており、今後も引き続き取り組んでいきます。また、組織内の情報伝達の迅速化を図り、情報の正確さの向上に努めます。 【総合政策課】</p>

前年度の市長と語る会における意見及び回答とその後の対応状況

意見	昨年の市長の回答	対応状況【担当課】
救急車が道を間違えることがあるが、市内のことはある程度は把握しておく必要があるのではないか。	職員も市内の道路等を全て把握しきれない。通報の際には住所や氏名を明確にお願いしたい。迅速に対応できるよう努めていく。	職員の市内の状況把握については、市内の地水利確認等を実施する中で把握に努めているところです。【消防本部】
区画整理の関係で、現在途中で止まっている道路は開通することになるのか。	指摘の道路については区画整理との兼ね合いもあるが、県の事業になるため県と調整させていただきたい。	該当箇所については、今年度より県において事業化され、整備を進めることになっています。【都市計画課】
先日の台風15号で、避難命令など発令されたが、防災無線やテレビでしか情報を得ることができなかった。市のホームページでも速やかに情報を発信するように是正していただきたい。	すぐにでも対応させていただく。	ホームページでの情報公開について、土砂・河川・道路等の情報をリンクさせるなど速やかに情報提供できるよう努めており、今後も引き続き取り組んでいきます。また、組織内の情報伝達の迅速化を図り、情報の正確さの向上に努めます。【総合政策課】
多治見市において下校中の小学生が流される事故があったが、安全確保のため市としての統一した方針を示していただきたい。	土岐市においては教育長の指示により、まず教師による安全確認を行い、教師の引率のもと下校するか、保護者による送迎での対応とさせていただいた。今後も安全の確保を徹底する。	平成23年12月に、保護者への引渡し及び学校での待機についてとり決めを行いました。各学校ではそのとり決めに基づき今年度引渡し訓練を実施しています。【学校教育課】
防災無線のスピーカーが二重三重に響き聞き取りづらいため、はっきり聞こえるような対応をしていただきたい。また、視覚障害者に対しても災害時の情報収集ができるよう個別の防災無線の受信機配布など検討していただきたい。	防災無線についてはスピーカーとの位置により時間差が生じるため、時間差で放送するなど対応させていただくが、限界もあるため、メール等での情報提供も行っている。是非活用していただきたい。個別受信機については費用もかかることから、今後検討させていただく。	防災無線の時差放送については、今年度から実施しています。視覚障害者への対応については、状況に応じて戸別受信機を設置させていただきます。【総務課】
下石から曾木までの農免道路で、下石側の一部が道路が狭くなっているため対応をお願いしたい。	幹線道路については予算との相談になるが対応していきたいと考えている。	該当箇所については、河川と民間宅地に挟まれているため、用地の確保が難しい状況です。【土木課】
少子化が進む中、市内には子どもを出産できるところがないが、どのように考えているのか。	総合病院での産科の再開には2～3人の医師を確保する必要があり、開業医の方に来てもらうことのほうが現実的であり、そのための努力はしていきたい。何れにせよ何らかの対応が必要であると考えており、今後取り組みを検討させていただく。	具体的な予定は今のところありませんが、産婦人科医師の開院を支援しているコンサルタントや建設会社等への情報収集を行っています。【総合政策課】
全国的に自然エネルギーへの取り組みが進んでいる中で、土岐市には核融合科学研究所も立地し、エネルギー問題に力を入れている市であると思うが、今後自然エネルギーについて取り組む予定はあるか。その取り組みにより雇用も生まれると思われるため、少しでも早く取り組むべきではないか。	現状では予算の面もあるため、大規模な取り組みは難しいと考えるが、施設の新築等の際に太陽光発電の導入について検討していきたい。	自然エネルギーについては、この地区の特性を考慮すると太陽光発電の推進が適していると考えます。現在は、個人宅へ太陽光発電システムを設置した場合に補助金を交付しています。公共施設への設置については、多額な経費を要するため、大規模改築や新築の際に設置の検討を行うとともに、その他様々な導入手法についても検討していきたいと考えています。【環境課】

前年度の市長と語る会における意見及び回答とその後の対応状況

意見	昨年の市長の回答	対応状況【担当課】
市長の公約にきめ細かな教育とあるが、校舎の耐震化等も重要であるが、数年後には鶴里小学校も複式学級となる可能性がある。昨年行ったアンケートでは90%以上の保護者が濃南地区の学校統合に肯定的な意見であった。行政からも積極的な取り組みをお願いしたい。	学校の統合についてはいろいろな意見があるが、曾木小学校と駄知小学校、鶴里小学校と妻木小学校の統合といったことは考えていない。行政としては統合したほうが効率的であると考えているが、地域の方の意見を集約して早めに決めていきたいと考えている。	鶴里小学校と曾木小学校を統合し、平成27年4月を目処に、濃南中学校敷地内に濃南小学校を新設開校する予定で、今年度基本設計を行なっています。【庶務課】
鶴里には西の平工業団地があるが、アクセス道路の整備が進んでいないため、鷺ヶ巣線の整備を何とか進めていただきたい。	道路の新設は今ほとんど行われていない。県は財政難であり、国も災害等の対応で厳しい状況である。ただ、道路整備は必要であると考えており、予算の範囲で優先順位を付けて進めていきたい。	財政状況等から新設道路の建設は難しく、現在は老朽化の進む橋梁の維持・更新を優先して整備を行なっています。【土木課】
ここ数年来イノシシの被害を受けている。頭数が増えるだけでなく、人間を恐れなくなっている。田畑の被害だけでなく、道路への進入による車両の被害等もあり、補助を手厚くするなどの対策強化をお願いしたい。	濃南地区だけでなく全市的な問題となっている。県との連携を進め、対策を進めていきたい。	鳥獣被害対策については、平成23年度に土岐市鳥獣被害対策協議会を設立し、電気柵を市内5ヶ所3,221mについて、地元と管理委託契約を締結しました。平成24年度においても、電気柵3ヶ所1928.6m、ワイヤーメッシュ柵3ヶ所1021.1mについて、地元と管理委託契約を締結予定です。【産業振興課】
近隣市と比較し、アクセスなど優れているが、土岐市は元気がないように感じている。土岐市もいろんな取り組みをしていると思うが、この会のような場で示していただきたい。また、雇用対策など積極的に進めるべきことは進めていただきたい。今後、夢のあるような取り組み等があれば聞かせていただきたい。	土岐市はアクセスも良く地盤も固い。土岐市に立地した企業の中には東日本大震災を受け、いくつかの候補地の中から内陸でアクセスのよい土岐市を選んだという話を聞いた。製造業については日本国内の空洞化が進み、投資も冷え込んできている。まずは土岐市を元気にするため、立地した企業の従業員等に対し土岐市内に定住していただけるような取り組みと新たに立地してもらえよう企業誘致の取り組みを積極的に取り組んでいきたいと考えている。	現在、アクアシルヴァの11区画については9区画が決定し、その他工業団地以外の地区においても新設・増設の事業所が1社ずつあるなど、着実に成果は上がっています。また、定住促進奨励金制度を設け、従業員の方に市内へ定住してもらえよう取り組みを進めています。【産業振興課】
陶磁器産業の振興について、陶磁器メーカーと陶磁器メーカーを相手とする事業所が市内には多くある。その両者を結びつけるような取り組みを今後行ってはどうか。	市内の陶磁器産業の事業所は多種多様な業態となっている。今後は画一的な支援でなく、多種多様な業界から多くの意見を伺って取り組みを進めたいと考えている。	土岐市陶業会議をはじめ、美濃焼産業活性化委員会、美濃焼振興意見交換会等で業界からの意見や現状を伺っています。ご提案の取り組みについては、メーカー等から要望があれば、対応していきたいと考えています。【美濃焼振興室】
市長の歳費、自由に使えるようなお金はどの程度あるのか。	会合などの出席の際に使用する交際費が100万円ほどあるが、その他は議会の議決をいただいたもののみで、自由に使えるようなお金はない。	交際費について、平成23年度は予算として100万円あり、祝儀や香典、会費などを用途に99件、676,975円を支出しています。【秘書広報課】

前年度の市長と語る会における意見及び回答とその後の対応状況

意見	昨年の市長の回答	対応状況【担当課】
市庁舎の市民が訪れるところに段ボール箱が出っぱなしになっていたり、市民の見えるところで食事をしたりしている。サービス業として最低限のマナーを徹底していただきたい。	市庁舎の建物は老朽化しており、職員が一度に食事できるようなスペースもないが、整理整頓をはじめマナーについては徹底させていただく。	職員のマナーについては、職員に対し、パソコンの庁内掲示板等で必要に応じて周知を行っています。 【秘書広報課】

前年度の市長と語る会における意見及び回答とその後の対応状況

意見	昨年の市長の回答	対応状況【担当課】
空き家対策について、具体的な検討をお願いしたい。所有権等の問題もあるが、何とか利用して他所からの人口流入を検討していただきたい。	他市の事例等を研究し、取り組みについて検討させていただく。	近隣市の空き家バンクの状況については、恵那市が平成22年10月から、中津川市が平成24年6月から制度をはじめています。しかし、全国的な空き家バンクの運営状況を見ると、登録物件数の伸び悩みや移住希望者が求める情報とのミスマッチ等の課題も見受けられ、必ずしも移住・交流者の増加等の効果に結びつけられていない現状も見られます。導入の前にはニーズ等の確認が必要であると考えています。 【総合政策課】
曾木と鶴里の消防団が一緒になり濃南分団となったが、市内の濃南以外の町では消防団の中核拠点施設がある。濃南分団にも拠点施設の整備をお願いしたい。	要望について検討課題とさせていただく。	濃南地区の拠点施設については、土岐市濃南消防センターを有効に活用していただいたいと考えています。 【消防本部】
企業誘致について、土岐市と多治見市境でトヨタ関係のテストコースが立地する話を聞いたが、今後の方針について伺いたい。	トヨタ紡織のテストコースの立地については、雇用が生まれるかは分からないが、関連企業の進出などが期待できる。今後の企業誘致については、現在の経済情勢から新たな工業団地の造成は難しいと思われるが、アクアシルヴァ、土岐プラズマリサーチパーク、土岐南テクノヒルズのほか、市の持つ下石の工業団地や財産区の土地も活用し、積極的に取り組んでいきたい。	現在、アクアシルヴァの11区画については9区画が決定し、その他工業団地以外の地区においても新設・増設の事業所が1社ずつあるなど、着実に成果は上がっています。また、定住促進奨励金制度を設け、従業員の方に市内へ定住してもらえよう取り組みを進めています。 【産業振興課】
現在酪農を営んでいるが、獣医が定年退職し現在嘱託職員として勤務されているが、嘱託職員を退職した後は、獣医の確保はどのように考えているのか。	東濃地区では中津川市、恵那市、瑞浪市において畜産・酪農が盛んであり獣医師も確保されているため、協定等により派遣支援などを受けられるように対応したいと考えている。	平成26年度までは現在の嘱託職員で対応し、その後については状況に応じて対応していく予定です。 【産業振興課】
曾木公園の土地の取得について、今後も紅葉ライトアップの継続のためにも検討していただきたい。また、バーデンパーク近辺にNPOのまちづくり協会で水仙を作ったが、その両隣が休耕田で荒廃してしまっているため周辺の土地取得についても検討していただきたい。	一度現地を確認させていただき、その後検討させていただく。	曾木公園の土地取得については、市の財政状況等から現在取得に至っていません。周辺の土地の取得については、市として行う予定はありません。 【産業振興課】

前年度の市長と語る会における意見及び回答とその後の対応状況

意見	昨年の市長の回答	対応状況【担当課】
駄知体育館を利用しているが、月に4回利用し14,400円の利用料を払わなければならない。また、参加者が減ってきていることから、市のほうで加入者の確保や料金の割引等の支援をいただけないか。	詳細は確認しないと分からないが、教育など市の条件に合えば減免の対象となる。基本的には使用される方に、電気代等運営費に対する受益者負担は必要であると考え。	土岐市在住の60歳以上の方で組織され、その1/2以上が65歳以上である団体については、今年度より「シルバー減免」制度を運用することとしました。【スポーツ振興課】
駄知体育館の利用について、 ①平日に利用しようとしても申込が既に入っているとのことで利用できない。同じ市民として税金等負担しているので、公平に利用できるよう制度の見直しをお願いしたい。 ②学校のクラブで利用するのに利用料が発生するのはいかがなものか。 ③体育館の利用についても現状では半面ずつの利用ができないため、半面使用で料金を下げるなど見直しをお願いしたい。	①利用申込の重複については利用者間での調整などで対応するなど柔軟な対応をしていきたい。 ②料金については、高すぎるのは問題であるが、市民の中でも利用されない方のほうが多いことからある程度の負担は必要であると考え。 ③現状について調べさせていただき、対応について検討する。	①出来るだけ多くの市民に利用していただくため、過度の予約を防止するようキャンセルの運用を厳しくしました。 ②クラブ活動での市民体育館の利用に関しては半額減免措置を講じていますが、ある程度の受益者負担はお願いしたいと考えています。 ③体育館の半面だけを使用するための施設設計（照明・コート面数・防球ネットなど）がなされていないため半面利用の設定は困難です。利用者間で調整をお願いしたいと考えています。【スポーツ振興課】
財政が厳しいといわれるが、民間企業であれば給料を削るなどで対応する。土岐市の平均所得は300万円を下回っており、行政も市長、職員、議員などの給料を減らすことを考えるべきではないか。	職員等の給与は年々減ってきており、職員数も少なくなっている。急に下げることは難しいため、周りの状況等を見て考えたい。	職員給与については、国家公務員に準じ、適正に対応しています。【秘書広報課】
駅前買い物に行っても休憩するようないないため、整備をお願いしたい。また、バスの便が不便であるため辺鄙なところにもバスのルートを増やしてほしい。	駅前の休憩所については今後の検討課題とさせていただく。バスについてはすべてをまわることになると効率も悪くなるため、効率よく回れるよう検討したい。	駅前の休憩所については、今年度駅前の農協前に屋根とベンチを設置しました。バスルートについては、市民バスは限られた財源の中で実施する事業ですので、需要に応じて運行本数の見直しを行うこととしております。市民バスは必要最低限の交通手段であることをご理解願います。【産業振興課】
企業誘致についての現状を伺いたい。	これまでアクアシルヴァの11区画のうち5区画が決定した。地盤や交通アクセスの良さを活かし、今後も誘致を進めていきたい。また、立地企業の従業員に土岐市に定住してもらえるような取り組みも検討し、人口増によりまちの活気を取り戻していきたい。市北部だけでなく、南部についても下石の工業団地などへの誘致を進めたい。	現在、アクアシルヴァの11区画については9区画が決定し、その他工業団地以外の地区においても新設・増設の事業所が1社ずつあるなど、着実に成果は上がっています。また、定住促進奨励金制度を設け、従業員の方に市内へ定住してもらえるよう取り組みを進めています。【産業振興課】

前年度の市長と語る会における意見及び回答とその後の対応状況

意見	昨年の市長の回答	対応状況【担当課】
<p>多治見市ではうながっぱがキャラクターとしてあるが、土岐市でもキャラクターを作成する予定はあるのか。 また、駅前開発など土岐市駅周辺の活性化策は何かあるか。</p>	<p>キャラクターについてはやったほうが良いという意見とやらなくてもいいという意見で分かれている。個人的には土岐市としてのキャラクターはあったほうが良いと思うので何とか考えていきたい。</p> <p>駅前については、市街地再開発など面的な整備は難しいため、まずは線的な整備として新土岐津線の整備を進めている。その後、駅前広場を整備し、基盤整備による商店街への出店増などにより活生化を図りたい。また、人が集まるような高齢者集合住宅の整備等も検討していきたい。</p>	<p>現在、下石町・妻木町・駄知町においてキャラクターを作成されていますが、市としてのキャラクターはありません。各地区のキャラクターを利用するのか、市として新たに作成するのか、作成後のPR・活用方法を含め、十分に検討した上で進めていくこととしております。</p> <p>【産業振興課】</p> <p>駅周辺の整備については、現在新土岐津線の整備を進めています。引き続き、県施工分を要望をしていくとともに、駅前広場の整備について、交通結節点の機能を主体とした基本計画の策定を進めています。整備を進めるにあたっては、まず社会基盤を整備し都市環境を整えることが魅力あるまちづくりの第一歩であると考えていますので、駅前広場を整備した後、地権者の意向や民間企業の動向等を踏まえて整備を進めたいと考えています。</p> <p>【中心市街地整備推進室】</p>
<p>老人クラブの会員が減少しているいるが、市のほうでPRなどの協力をいただけないか。駄知町は市全体よりも人口減少や高齢化が進んでいるため、老人会の活動等に対して何らかの対策をお願いしたい。</p>	<p>今時の60代から70代はまだ現役世代と認識しているため、老人会への加入には抵抗があるのかもしれない。市としては、団体の自主的な活動を支援することを考えさせていただきたい。</p>	<p>9月1号広報の特集記事として、老人クラブ活動をPRさせていただきました。今後も団体の自主的な活動を支援していきたいと考えています。</p> <p>【高齢介護課】</p>
<p>女性消防団に対する市長の考えを伺いたい。</p>	<p>現在は男性の消防団も集まりが悪く活気がなくなっている。いい意味での男女共同参画として、団の活性化のためにも女性消防団の参加をお願いしたい。</p>	<p>女性消防団員には地域の火災予防、応急手当の普及・啓発をはじめ災害時の被災者保護、広報活動など警防活動を行って頂いております。</p> <p>【消防本部】</p>
<p>体育館は午後10時までであるが、トレーニングルームの管理人が午後9時30分までしかいないため、体育館の施錠忘れや電気の消し忘れ等がある。午後10時までの対応はできないか。</p>	<p>基本的には使用される方が施錠や消灯をしていただくものと思うが、状況及び対応可能か確認させていただく。</p>	<p>平成25年度からは10時までの対応とします。</p> <p>【スポーツ振興課】</p>

前年度の市長と語る会における意見及び回答とその後の対応状況

意見	昨年の市長の回答	対応状況【担当課】
避難場所について、上肥田地区では老朽化した避難場所しかなく、耐震性等に不安がある。また、他の避難場所へ行くにしても増水などで行けない可能性もあるため見直しをお願いしたい。	地震や集中豪雨など災害ごとに避難場所を設定するなど、今後市の防災計画を見直すことを考えている。	避難場所については、今年度実施の土砂災害警戒区域指定の結果とDIG（災害図上訓練）の結果等を踏まえて検証・見直しを行い、平成25年度の防災計画改訂に反映させることとしています。 【総務課】
弓取橋から下肥田間の市道について、通学時には車の通行量も多い。専用歩道などは用地などのこともあり難しいと思われるため、市内他町で行われているカラー舗装など検討していただきたい。	現在市内で通学路の安全対策としてカラー舗装を進めている。要望を出していただければ検討させていただくので提案をお願いしたい。	今年度の自治会要望には提出がありませんでしたが、今年8月に実施した通学路の緊急合同点検では白線が消えかかっているとして学校から危険箇所の報告を受けています。該当箇所は、下水道工事が本年度実施され、来年度に側溝舗装工事が予定されているため、それ以降に対応する予定です。 【土木課】
子どもを連れて遊びにいけるような公園がなく、遊具もない。瑞浪市の和合地区には多くの公園があるが、将来を担う子どものためにもある程度の投資をお願いしたい。	公園は区画整理事業に伴い整備されるものが多く、瑞浪市の例や土岐市でも区画整理を行った泉や土岐津地区に公園が多くある。公園が偏在していることは問題と考えており、何とかしていきたいと考えている。遊具については順次整備していきたい。	都市公園の整備については地域からの要望があり、用地の確保が出来れば検討したいと考えています。 【都市計画課】
陶器だけのまちづくりには限界があるため、新たに「花」を用いたまちおこしを検討し、多くの方に来ていただけるようなまちづくりを進めてはどうか。また、高根地区には企業誘致できるような土地があるが、活用できないか。	花の名所については検討できると思われるので考えていきたい。企業誘致をしていく中で懸案となるのが、手間や時間のかかる環境アセスである。最近立地が進んでいるのは開発のしやすい鉱山跡地等が多く、新たに開発を行うことは少なくなってきたが、企業のニーズに合わせて対応したケースもあり、今後そういったニーズがあれば検討したい。	近年、旅行者の志向は、食・癒し（温泉）・景観（季節の花）と言われているので、観光振興の一つの手段として花などによる景観整備を今後の検討課題としていきたいと考えています。企業誘致については、高根地区に限らず、地権者・周辺住民等の理解と協力が得られ、企業との間で条件等が整うようでしたら、適地として誘致を進めていきたいと考えています。 【産業振興課】
陶史の森には多くの来訪者があり、駅からウォーキングで訪れる方もいるが、歩道がなく危険である。子どもも遠足で行くところであり整備をお願いしたい。	ご指摘の箇所は危険であると認識しており、優先度も高いと考える。予算等の問題もあるが、市道のできるどころから検討していきたい。	交通安全の確保については、現在通学路の整備を優先的に進めています。しかし、用地が必要となる歩道の整備は難しいため、路肩のカラー舗装で対応していくこととしています。 【土木課】
最近よく「市民協働」という言葉を耳にするが、「地域のことは地域で行う」ことも協働の一つであると考えている。今後協働を進めるにあたり、市民が行政に要望するような一方的な状態を改善していくための市民教育や周知なども必要であると考えているが、市の具体的な方針等について伺いたい。	協働を進めていく上で最も大切なことは、行政と市民の話合いであり、行政と市民の役割分担など話合いで決めていくことが協働の本来のあり方であると考えている。「協働」という言葉は最近頻繁に使われるようになってきたが、以前から行われてきている。例えば、行政はゴミの収集、地域（市民）はゴミ集積所の管理といった役割分担も協働の一つである。今後はより多くの方面で市民と行政の役割分担による協働を進めていきたいと考えている。	市民協働について、今後は協働に必要不可欠である「情報の共有」（市からの情報提供と市民意見やニーズ等の聴取及び市政への反映）を進めるため、広報やホームページの充実とパブリックコメントや市民意識調査などを行うとともに、各種審議会への公募委員の登用促進やまちづくり補助金等により市民協働に取り組んでいます。また、今後は団塊の世代の退職者等に地域活動へ参加を促せるような取り組みを進めていきたいと考えています。 【総合政策課】

前年度の市長と語る会における意見及び回答とその後の対応状況

意見	昨年の市長の回答	対応状況【担当課】
<p>①市内の地域経済活性化のため、住宅リフォームの助成をしてはどうか。</p> <p>②駅前や主要なバス停に屋根や椅子を設置していただきたい。</p>	<p>①今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>②設置のスペース等の問題もあり、検討課題とさせていただきます。</p>	<p>①全市民を対象としたリフォームの助成については、財政的に困難であるほか、福祉や耐震など目的に応じて補助制度はあるべきと考えているため、現在のところ実施する予定はありません。 【都市計画課】</p> <p>②駅前の休憩所については、今年度駅前の農協前に屋根とベンチを設置しました。 【産業振興課】</p>
<p>何をするにしてもお金は必要になる。資料の中で行財政改革を推進するとあるが、具体的な説明をお願いしたい。</p>	<p>一番経費がかかるのは人件費であるため、業務委託や嘱託化などで行政のスリム化を図りたいと考えている。組織についても見直しを行うことを考えている。</p>	<p>行政改革について、組織の見直しとして、商工観光課、企業立地推進室及び農林課を産業振興課として統合するなど課室の統廃合を行う一方、きめ細かな対応ができるよう福祉課を福祉課と高齢介護課に分割するなど業務の効率化を図り、複雑・多様化する課題へ対応できるよう見直しを行いました。また、児童課を子育て支援課に名称変更するなど分かりやすい組織となるよう見直しを行ないました。職員定数については、技能労務職員の退職者不補充等により3人の削減を行いました。その他、市有地の一般競争入札の実施など歳入確保のため、新たな取り組みを行なっています。 【総合政策課】</p>
<p>①駅前に病院や有名店の誘致など再開発の計画はないか。その際には検討委員会を設置し、若手職員や商店街の方、一般市民、土地所有者など集めて検討してはどうか。</p> <p>②放課後教室について、以前とやり方が変わり質が落ちているように感じるがどうなっているのか。</p> <p>③職員のマナー（市民から見えるところで食事する等）を見直していただきたい。</p>	<p>①再開発については大きな都市であれば土地の有効活用ということで検討もできるが、土岐市の規模では難しい。土地所有者の方で何らかの案を出していただければ、市としても検討させていただきます。</p> <p>②放課後教室の現状を確認し、良い方向に持っていきたい。</p> <p>③庁舎のスペース等の問題もあり、市民に迷惑のかからないよう対応していきたい。</p>	<p>①駅前地区の再開発について、現在土地所有者の方から提案はありません。 【中心市街地整備推進室】</p> <p>②放課後教室は当初より『異学年交流、地域の方との交流、様々な体験活動などを通し、子どもの自主性や社会性、協調性を育てる』という理念のもと実施しています。各教室では、室長と指導員2～5人を配置し、運営しておりますが、毎年定期的に室長会、指導員研修会を実施し、教室間の連携強化、指導力の向上を図っています。また、放課後教室の理解を深めるため、全保護者を対象に、放課後教室の説明会を実施しています。 【生涯学習課】</p> <p>③職員に対し、パソコンの庁内掲示板等で必要に応じて周知を行っています。 【秘書広報課】</p>
<p>現在学校で、泉町や土岐市の歴史教育など行われているのか。ふるさと・郷土の教育は重要なことであるため、是非取り入れていただきたい。</p>	<p>今の学校は入試の勉強が中心となっている。少しでも郷土・地域の歴史などを学ぶ時間を増やしていきたいと考えている。</p>	<p>郷土を愛する子どもを育成するため、今年度から「土岐のあかり」の編さんを行っています。編さん後は総合的な学習の時間で活用することとしています。 【教育研究所】</p>

前年度の市長と語る会における意見及び回答とその後の対応状況

意見	昨年の市長の回答	対応状況【担当課】
<p>9月20日の台風15号で五斗蒔の道路で土砂崩れがあり、現在ブルーシートがかけられているが、危険な状態であり、保護者が付き添って通学している。要望を出させていただくので復旧工事をお願いしたい。</p>	<p>災害復旧については国の補助もあり、申請手続き等で時間を要するが、復旧工事は行うこととしている。</p>	<p>該当箇所については、県の管理となります。要望に対して、県より「当該箇所については、一般的な仮施工として法面の土砂崩壊に対してブルーシートを布設し、法尻の洗堀等保護のため大型土のうを2段設置しており、安全上問題ないと考えております。本路線につきましては、道路改良工事が計画されていることから、改良工事着工まで維持管理を十分に行い、安全性を確保します。なお、道路改良工事につきましては泉北団地入口交差点～土岐グリーンタウン入口区間を平成26年度までに完了させる予定です。」との回答がありました。 【監理用地課】</p>